

全体会・午前の部

司会者 全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます。城ノ内中学校2年のf, 八万中学校3年のcです。よろしくお願いします。(拍手)

それでは早速パネルディスカッションに移りたいと思います。パネリストはYさん, Aさん, Mさん, コーディネーターは吉成正士さんです。どうぞよろしくお願いします。(拍手)



吉成 おはようございます。吉成正士と言います。徳島市八万中学校で教員をしています。

去年, ちょうどこの時期に台風が来たおかげというか, 来たせいで, 昨年鳥取と福井のみなさんには大変寂しいというか, 悲しい思いをさせてしまったこととお詫びさせていただきます。どうも申し訳ございませんでした。ですから去年は, 徳島と香川での開催になったんですね。その分人数が少なくなって, すごく寂しい思いをしたんですけども, 2年ぶりにこうやってまた出会えることができ, 大変嬉しく思っています。今年も台風が来かけてヒヤヒヤしたんですけども, 何とかできて良かったなというふうに思っています。

今年でこの会も24年め, 24回めになりました。みなさんにすれば生まれる前のことで, 遠い昔のこのように思うかもしれませんが, それだけの年月を積み重ねてきたんだ

なと思っています。今日は, この会のOB・OGである3人の人に登壇してもらいました。

私は日ごろから思うんですけど, 「人権学習はすべてを変える」と思っています。「人権学習はすべてを変える」すべてって何かっていうとね, 例えば, 私は教員をしていますけども, 私一応数学の教員をしてるんです。が, 数学の授業も変わったように思います。1+1が3になったりはしませんけど。1+1は2のままなんですけど, 授業の仕方っていうかね, そういうのが変わってきたように思うんです。それと同様に, 例えば人の見方, 中学生の見方も変わったように思います。もしかするとそちらの方が先かもしれません。そちらが先で, 授業が変わっていったような気がします。

ものの見方も変わってきたような気がします。もっと言えば, 人権学習をすることを通して, 中学生自身が変わってきた姿を見てきたんですが, 例えば勉強をするようになった。どうですかね, みなさん。人権学習をしていったらね, 学力がついていったような気がするんです。そんな実感ありますか。まだまだですかね。そんな気がするんです。スポーツだってね, 頑張るようになった。そんな気がします。それとかね, 行動も変わったかな, もしかすると。例えば, ニュースや新聞を見るようになったっていうこともあるかもしれません。



今月ね, こんなニュースがありました。知

ってる人、手挙げてもらえますかね。ハンセン病家族訴訟で原告団が勝利したっていうニュースを、ちょっとでも見たり聞いたりした記憶がある人、どれくらいいます？ちょっと周り見渡してみてください。これだけの人がいるんです。はいありがとうございます。あのね、そういう問題っていうか、社会の問題っていうか、差別の問題っていうか、人権の問題に、アンテナが立ってきたら、今みたいに手が挙がってくるんやと思うんですよ。関心が出てくるっていうんですかね。ものが見方が変わってくるっていうかね。そんなふうになっていくんだと思うんです。どんどん社会のことを知って行ってほしい。そんな意識が出てくるとね、勉強だって頑張ってみようかなって思えるようになっていくんじゃないかなって、そんな気がします。教員目線で言うとね、主体的・対話的な深い学びっていうやつです。そういう場面を、これから今日の午前、午後と、私たちはここで見ることができるんだろなと思っています。



さて、話を元に戻しますが、そんなふうにして「人権学習はすべてを変える」というのを、実際に体験してきた3人のような気がするんですね。ものが見方が変わってきた、それから生き方も変わってきた、人を見方も変わってきた、そんな経験をしてきた3人のような気がします。その具体的な話を、これから3人から、10分から15分ずつくらい話を聞かせてもらいますので、どうぞ耳を澄まして聞いてみてください。

まずはYさんです。簡単な自己紹介のあと、人権に関わっての話をしてもらいますので、どうぞYさん、よろしくお願いします。



Y 自己紹介、ボク1番目にするの何かすごいあれなんですけど。O中学校を卒業してます。そのときに担任をもってもらってないんですけど、その学校にいて、ボクをここに連れてきてくれたのが、さっきまでしゃべってたローソンのユニフォーム細いやつみたいななん着てる人なんですけど。佐川男子にしてはちょっとあれですけどね。ちょっといいように言ったんですけど、今、先生。

何の話しよったっけ。そうそう、O中学校卒業して、今は今年25歳になります。してることという、北島町という所でたこ焼き屋さん、たこ焼き焼きながら、そうじゃないときはギター担いでいろんな所で歌を歌ったりしてます。自己紹介としてはこんなものですね。これぐらいの自己紹介でよろしいでしょうか。



吉成 先に3人それぞれ自己紹介をちょちょっ

とやった後、話してもらいましょうか。(Y : ありがたいです)それでは順番ごとに簡単な自己紹介してもらいましょうか。Mさんお願いします。3人終わったらYさんお願いしますね。



M おはようございます。(笑)やばい。全然心構えできてなかった。(笑)今年の人権集会の実行委員会に来てくださってる人は何度か顔に見覚えがあるかなと思うんですけど。Mと言います。出身中学校はA中学校ですね。そのときに引っ張ってきてくれたのが、あっおった。(Y : 先生もう1回手を挙げてあげてください)あそこにすごい小難しい顔で座ってる先生なんですけど。(笑)中学2年生のときに、あんまし興味なかった私をすごい引っ張ってきてくださって、こんな登壇するような場所まで連れてきてくださった先生です。(笑)今は徳島大学で、全然人権とか、教師になるとか、全然関係ない勉強をしてるんですけど。まあちらっと見に来られたらいいかなっていうことで、みなさんがどんな感じしてるのかなっていうので見に来てたんで。午後からの発表もすごい楽しみにしています。お願いします。(拍手)

吉成 はい、Aさんお願いします。

A はじめまして、おはようございます。徳島文理大学2年生のAです。出身中学校はMさんと一緒にA中学校なんですけど、私自身は自分から行きたいということで、この2人と

は違うんですけど、自分の意志で行きたいんじゃないっていうことを森口先生に伝えてここまで来たんですけど。私も大学行ってるんですけど、管理栄養士になりたくて行ったんですけど。4月ぐらいに先生たちとご飯に行く機会があってご飯に行ったときに、学校の先生にならんのかみたいな感じで言われたときに、「わっ、なったらよかった」っていう後悔をしました。オチなし。以上。



吉成 自己紹介ですからね。

Y やっぱりボク1番手じゃなかった気がするんですけどね、ホントに。(吉成 : はい、1番手です)これどういう順番でしゃべるのが決まったかっていうと、じゃあもういっそクジにしましょうって、そこでクジ引いたんですね。で、バツてやったときに、誰が1番手、2番手、3番手って決めようって決めてたんですけど、ボクが行った頃にはくじ引き終わってたんですね。で1番やでって言われて。暴露しちゃうんですけど、3人とも何を話すのかほとんど決めてないから、1番手の譲り合いでボクに決まったんじゃないかなってちょっと思ってるんですけど。そんなところで、入ってきたときからあの人はいったいどういう人なんだろうっていう目を感じながら今に至るので、やっと自己紹介を終えてこうやってしゃべれてるから、ああいう人なんやなって分かってくれただけでも良かったかなって思います。(吉成 : 本題にいきましょう)そうですね。

そうですね、生き立ちから話をすると。こ

こに来はじめたというか、吉成先生ないし、その当時中学1年生の担任の先生から、「こういう会があるんだけど来てみないか」という誘いを受けたんですけど。そもそもそうやって先生から誘いを受けたことが、小学校高学年の頃にまでさかのぼるのかな。当時小4、小5だったボクは、お父さんとお風呂に入っていて、普通にシャンプーしてるときに何気なく、「そういえばうちって被差別部落よな」ってお父さんに訊いたら、二つ返事で「今さら何を言ってんねん」って言われたもんやから、「そんな当たり前のもんなんやな」っていうふうに過ごしながら、中学生になったときに、ちょっとふとそういう話を担任の先生にしたところ、なぜか吉成先生を紹介されてここに来るようになって。中学1年生のボクから見ると、中学2年生3年生の先輩方がすごくお兄さん、お姉さんに見えて。その当時のこの会なんて、すごくなんか、今よりももっと、見た目的にすごくヤンキーな人だったりとか、すごく派手な人だったりがいっぱいいて。1年生のときはただただそういう人見てて、いろんな人が中学生におるんやなと思ってたんですけど。そうやって重ねて行って重ねて行って、吉成先生に誘いを受けて来てっていうのを繰り返しているうちに、そういう人たちがなんで来てるのかとか、分かってきかすと、当時親父が当たり前前に「何言うてんねん」と言っていたことが、当たり前なんかじゃなかったんやなとか思ってくるが増えて。



こに来はじめた考えが変わったことも多かったんですけど、振り返ると、ここででき

た友達って結構今でもボクずっと遊んでることが多いなって思ったんです。それこそ中学校も違うし、高校も違うし、大学も違うして、全然違うところで人生お互い歩んでたんですけど。ことあるごとに遊んでる今のボクの友達を考えると、ここで会った人が多いように思います。何が言いたいかというと、この会とボクとのつながりはそんな感じですかね。吉成先生に誘われて来て、何となくボーッと過ごしてたけど、自分の中で来る意味っていうのがだんだんだんだん芽生えていって。中学生集会って会自体は終わりなんですけど、高校に行っても同じような中・高生集会とか、今でもあるんですよ。(吉成：あります)そういうのがあって、中学生ながらに、高校生のお兄さんお姉さんと、一緒にこういう場でしゃべり合うっていう空間があったから、何か来てて普通に楽しかったんですよ。別に全然知らん高校生のお兄さんお姉さんと会うっていうのが。来てて結局その流れでエスカレーター式に高校になっても、中・高生集会の方にも来てたし。



高校で初めて自分が被差別部落だっていうことで差別を受けるじゃないけど、いじめを受けるじゃないけど、同級生の子からすごくきつく言われたことがあって。ボクはそういうことがあるんだなっていうことを、ここ来てたから分かって。ああ普通にあるなって思ってた。全然重要視もしてなくて。言われた子に対しても、そういうの良くないよとか言わなかったんですけど。その当時、全然違う学校なんですけど、電話をよくしてる高校

の先生がいまして。その先生に、「こういうことがあったんです、先生」って言ったら、「いや、それは高校の担任の先生にも言った方がいいし、その子のためにもならんし、とりあえず担任の先生に話してみるといいんじゃない」って言われたから、担任の先生に話してみて。そしたら事が大きくなっていった。そのボクに対してつらく当たった子とボクとの間で溝ができてしまったんですよね。ほんで結局、謝る謝らない、どっちが正しい、どっちが悪いっていうけんかになって。当時ボクすごく、今見た目でもちょっと分かるかもしれないですけど荒れてるというか、すごくやんちゃをした時期があったので、手が出る手が出ないってところにいったときに、結局、「Y堪えろ」と。「今はそういうことしたらアカンし、それはお前の力だけでは無理やから」っていうことで助けてくれたのが、そのときずっと電話をしていた高校の先生だったり、吉成先生だったりだったんですけど。



まとまってないですけど、すごく何が言いたかったっていうと、ボク一人の力でずっと歩んできたわけじゃなくて、出会った友達だったり、先生だったり、そういうところで助けられてきたのと、当時のボクの生活と吉成先生だったり、中学生集会だったりっていうのを思い出したときに、アッと思ったのがそういうことでした。

それで高校生ときに荒れてたっていう話につながるってんですけど、高校3年生の春にボクちょっと良くないことをしちゃって。1年間少年院に入るってことがあって。

そのときに今までここでできた友達だったり、高校の友達だったり、地元の友達だったり、それこそ吉成先生だったり、あーもうつながり切れたな、もう会うことはないな、良くないことしちゃったなって思ったんですけど。少年院でいて、少年院に入ってからすぐに吉成先生から手紙が来まして。開いたときに一番最初に書かれてたのが、「やっとなあなたに届きました」って書かれてたときに、すごくなんかボクは、今までしてきたことが全部間違ってたわけじゃなくて、切っても切れんつながりだったり、ボクはこう思ってるけど相手も同じことを思ってるってことじゃなくて、相手からも思われてるんだなって。自分ばかりじゃないんだな、相手もボクのことを受け入れてくれているんだなっていうのがすごくわかって。何か責められてるんじゃないって。ゆるされてるというか。その手紙の続きに、「あなたが帰ってこれる場所をつくるから安心して帰ってきなさい」っていうことを先生が書いてくれてたんですけど。何かゆるされたときにすごく自分のしたことを後悔して。ガツンと先生にすごく考えてたこと、良くないことを直してもらったような気がして。いざ少年院での生活、1年と4ヶ月ぐらいの生活を終えて吉成先生と会ったときに、今までと変わらないように接してくれたのとか。それこそさっきも言ってたんですけど、もちろん高校は自主退学というかたちで高校に行けなくなってたんで。



いっぱいいっぱいです。ごめんなさいね。すごいいっぱいなんです。ごめんな

さいね。しゃべってる本人いっぱいいっぱいから聞いている方、このおっさん何しゃべってんねんと思うと思うんですけど、ごめんなさい。言いたいことを、すごくボクはこう思うんですけど大きいことはあるんですけど、それまでの道筋を分かりやすく説明するのがすごく下手で。



学生生活を振り返ったときに、少年院でのことも含めて、出た後のことも含めて、自分一人だけでやってきたなっていうことがまったくなくて。いろんな人、友達、吉成先生、親もそうやし、学校の先生もそうやし、先輩もそうやし、後輩もそうやし、いろんな人に、そうじゃないよ、そうじゃないよって、^{みちるべ}道標をつくってもらったとか、導いてもらったなって思って。何かそれってすごい心強いことやなって思うんですよね。

いま実際ボク、ギターを担いで一人でいわゆるシンガーソングライターっていう、まあプロではないんですけど、歌ったりっていうことして。やってるのは一人なんですけど、結局何で一人でそういうことやってこれたかっていうことを考えたら、生意気ですけど、ボクにもファンがついてたりとかして、そういう人からメールもらったりとか、直接歌ってるところを聴きに來てくれたときに、あなたの歌について感想をもらってそれが力になって。ああ自分一人がやりたいからやり始めたことが、いつの間にか自分一人だけのことじゃなくなって、そうやって支えられて、結局人がボクを変えてくれたんだな、導いてくれたんだな、勇気づけてくれたんだなって

思っ



思っ。昨日の夜の交流会行ってる子たちは分かると思うんですけど、ボク今日の朝の6時半まで、音楽やってる先輩の誕生日のイベントの飲み会に行ってたんですけど。そこでも、その先輩っていうのがすごく徳島県で有名な方で。もう徳島県でそれこそDJプレイとかしてる人からすると、もうその人なんてホントにボクにとっての吉成先生みたいなもので。こういうことしゃべらなあかなあ、ああいふことしゃべった方がいいかなって考えてたときだったから、先輩後輩とか、慕い慕われっていうのを見たときに、何か人との関係っていいもんやなって。笑いながら「誕生日おめでとうございます、乾杯」ってやってるのを見て。人は一人で生きれないって言うけど、生きることもたぶんどできると思うんですね。でも音楽やってたりとか、昨日すごく、音楽やってるときにも思ったし、昨日そうやって先輩と乾杯ってやってるときにも思ったんですけど。いきるっていうのが、「生」の字の生きるだとできると思うんですけど、いきるって「活かす」の方だと一人ではできないんだなあと思ったんですね。こういう話をなんで今してるかっていうと、すごく最初の方にさかのぼるんですけど。こうやって自分の足で歩いているんな所に出向いた先で、出会った見つけたものって、その人にしかないものだと思うから、実行委員長さんとか言ってたけど、隣の人、違う学校の人、緊張するかもしれんし、恥ずかしいなって思うかもしれんけど、ここでちょっとだけ、何気なく話

した友達が、その先もずっと友達として続くこともあるし、そうじゃないことがあるかもしれないけれど、思いがけない出会いっていうのをボクは大切にしてほしいなって思ったから、それをすごく言いたくて。だから出会いとか、今自分がしてることとか、これでいいかなって思うかもしれないけど、自信をもって、周りの友達や自分を信じて、めいっぱい学生生活を楽しんでほしいなと、ちょっと後ろ向きですけど思います。



何か最後に言いたいことあったんですけどね、ここに来て忘れるんです。カンペは見ない。何かあった。でもね、これたぶん言わんとね、最後の最後でもう一回手挙げてこれだけしゃべらせてくださいって言ってる自分が見えるんです。過去のパネラー見てると。(吉成：見えてるんやったらそれでええんやないん。見えてるんやったらそれしたら)おっさんがスマートフォン取り出します。(吉成：ほなもう先にいっところか)お願いします。すいません、つたなくて申し訳ないです。

吉成 今、人との出会いとかつながりっていうところで話をたくさんしてくれたような気がするんですけど。この空気を変えるのはなかなかMさん、なかなかしんどいですよ、これ。(Y：まあでも事前に分かかん雰囲気にしてパスするからって、そこで言ってたから、そういう意味では自分の思う感じじゃないけど成功してるんで)さあほな頑張ろう。

M (笑)こっちからしたら大失敗ですわ。まあこんないい話はできないんで、(笑)リラックス

スして肩の力抜いて聞いてほしいんですけど。(笑)すごい話はできないんですよ。すごい話はできないし、私緊張するとちょっとニヤけて話す癖^{くせ}があるんで、ずっとニヤニヤ(笑)してるんですけど、ちょっと許してください。



そうですね、中学生集会に来てたときの話からパッと話していこうかなと思うんですけど。さっき自己紹介のときに言わせてもらったように、中学校2年生のときに、先生に引っぱりられるかたちで参加することになったんですけど。ホントはね、ホントは思っちゃダメというか、ダメだと思うんですけど、めっちゃ面倒くさかったんですよ。そのとき。(笑)なんで夏休みをつぶしてまで来なアカンなって思っって。(笑)宿題もあるしね、みんなあるし。遊びたいし。そんな別に興味ないようなところになんで来なアカンのだろなって思っって。私も一人で行くの嫌やから、私のその当時、今もすごい仲いいんですけど、その友達も「話す人おらんからちょっと一緒に来て」みたいな感じで、(笑)とりあえず来たんです、この場に。私、あんまり記憶すごい悪いんで、その当時話されたこととかあんまり覚えてないんですけど、そのときの自分の気持ちは、「ああこれやったら来ても良かったな」って、中2のときに思えたのがこの集会で。全然言うと、勉強と関係ないじゃないですか。たぶんみなさんが、普段やってるようなね、中学校の国語じゃの数学じゃのとは全然関係ないんですけど、社会を見ることが出来る場で、すごい自分が、参加するだ

けで大人になれたみたいなの。(笑)すごいなんかいろんなこと聞いて帰ったぞみたいな感じで。すぐ聞いたこと忘れてるんですけどね。(笑)その次の年から参加することに決めるんですよ、自分で。来年も行きたいなって思ってた。



中3になったときに、「行きます」って言ったら森口先生から、「実行委員長せんか」みたいに言われて。去年そんなに勢い、勢いというかモチベーションがあって行ったわけじゃない奴が、いきなり次の年になって実行委員長するかって思って。(笑)「とりあえず考えてみます」みたいな感じで、その時は素っ気なく返事しちゃったんですけど。結局何回か来るうちに、せつかくやったらなんか仕事しとった方がいいかなみたいな(笑)感じで、実行委員長を中3のときに、私もやりました。

昨日ちょっとね、見つけてきたんですよ。自分が実行委員長だったときの冊子を。(笑)私まだ来週試験が残ってるから、(笑)大学の。全部読めてないんですけど。なんかいろいろやってるんですよ私。実行委員長もやってるし、さっきその中の一人がやってたと思うんですけど、実行委員長の開会のこととか、あと午後からやる作文読んだりとか、この年めっちゃやってるんですよ私。1年ですごいなんか、(笑)すごい1年で私面倒くさかったのに、その1年でやる気がすごい出てるなって思って(笑)ビックリしたんですけど。(笑)でもそう思わせてくれるくらいすごい楽しい雰囲気だったんですよ。

中学生集会3年生終わって高校生になって、人権と関わる機会ってもうないんかなって自分で思ってて。そしたら、私北高なんですよね。徳島北高校なんですけど、その北高の部活動の中にね、人権の部活動があったんですよ。おっ、これ使えるんちゃうんと思って入部届みたいなん出しに行ったんですけど、部室行ったときに誰もおらんのですよ。(笑)いなくて、「あれ、部屋間違えたかな」と思って。そしたら顧問の先生がね、来てくれて。もしかして入部の希望の子かなみたいな。女の先生やったんですけど。「あ、そうです」って言ったら、「いやね、今休学して留学行ってる先輩が一人おるだけであと後輩おらんのよね」みたいな話になって。「先輩おらんのやけど、やる？」(笑)みたいな感じで言われて。(笑)「じゃあととりあえず入部届だけ出して、私以外の1年生が来るかもしれないから、それまで待ちます」みたいな感じになって。そしたら、何人だったかな。5人? かな。私のけて5人ぐらい集まってくれて。「おっ、これ動けるやん」みたいな。(笑)6人おったら動けるやんとかなって。でまた高校から人権の勉強、勉強っていうわけではないんですけど、人権の活動がスタートしていくわけなんですけど。



中学生集会で、今日みなさんいろんな人と会うわけなんですけど、その人たちと会えるかもしれないと思って。楽しい思い出しか私にはないから、会えたらいいなっていう思いで、中・高生集会っていうね、高校生と中学生と一緒にやる人権集会があるんですけど、

それにも行って、そこで中学生では感じなかった、自分の思いをはっきり伝えることの大切さとか、個々の個性って素晴らしいなって思えるような体験があって。

私って、今までの話の内容で分かると思うんですけど、何にもないんですよ。私自身には。例えばさっきみたいな、すごい過去があったりとか、(笑)周りがすごい友達がいじめられてたりとかっていう経験もそんなにないし、自分が人権学習に関わってる理由って、何かただ楽しいだけやんみたいな感じなんですよ、私の中ではね。たぶん今日参加してくれてる子の中にもいると思うんですよ。別に障がいのある人近くにおらんし、被差別部落の出身でもないし、学習会とかも行ったことないし、ただ道徳の時間に人権のこと学んでるだけの人間なのに、何もしゃべることないわってたぶん思ってる子、いると思うんですよ。その子たちこそ私はすごい来てほしいと思ってて、この集会に。何かきっかけがないと来ないじゃないですか。だから私も誘われなかったら来なかったし。だから、自分何もないなって思ってる子こそ、手を挙げて発表しろとは言わないんですけど、自分の中でいろいろ考えて帰ってもらいたいなって今日すごい思ってて。



人権学習をしてたら、自分のことすごい考えるようになったんですよ、私。あんまり自分のこと考え…なんか自分てどんな人間なんだろうみたいな、ありません？自分の長所って何ですかって訊かれても、何だろうなみたいな。(笑)短所しか浮かんでけえへんみたいな。(笑)あると思うんですけど。私はこの人

権集会を、去年とか一昨年とかは別に集会とかに参加したわけじゃないんですけど、自分で、自分のいいところって見つけられなかったんですけど。人権集会やってて、自分のいいところって何もむしろないから、いろんなこと吸収できるんかなとか、うん。

自分のことこうやって言うのも、私そんな得意じゃないんですよ。(笑)緊張すると涙が出てくるんですけど。今も涙出てきてるんですけど。泣きたいわけじゃなくて出てくるんですよ。(笑)何か出てくるんですよ。(笑)泣きたいわけじゃないんですけど。何か、泣きながらも話せるすごい笑顔やん、今。(笑)何かよう分からん。いつも話するとき顔面がえらいことになるんですけど。(笑)泣きたいわけじゃないんですけど、涙が出てきちゃうんですよ、緊張して。何やろうな、オチがつけられないというか、話の芯が通ってないんですけど。



人権集会に来て良かったなって思えるのは、自分がいろんな過程で変わったことと、いろんな知識を吸収することができて、大それたことは言えないんですけど、誰かの力になろうって思える自分ができたのが、大人になって良かったなって、すごい思うんですよ。あんまり自分が、自分のこと好きって思う人少ないと思うんですけど、私自分のことすごい好きなんですよ。(笑)ナルシストっていうわけではなくて、こうやって壇上に立ってる今の自分とか、中学生のとき絶対そんなん考えれなかったのに、すごくねえ、みたいな。立ってる自分カッコイイ、みたいな。(笑)し

やべれてる自分すごいやんて、何かすごい前向きにしてくれたのが人権学習だなど思いました。

さっきも言ったんやけど、今日発表してくれる子は発表してくれたらいいなって思うんやけど、自分が言いたくないことだったりとか、別に自分の中ですごい考えるんやったら、無理に自分の気持ちを押し殺してまで発表しなくてもいいんじゃないかなって思うし、発表できなかった自分も、たぶんこれからいろんな人権集会とかだったりいろんな話とか聞いていく中で、「あっ言ってみよう」って、唐突に思える日がたぶん来ると思うんですよね。いろいろやってたら。やからそのときまで待つのもいいんじゃないかなって、普通に思うんで。自分の中だけでもいろいろ考えて帰ってもらえたらなっていうふうに思いますね。はい。(笑)



吉成 はい。(拍手)あの一、ここに来る理由がないと、さも来てはいけないみたい。あるよな、そういうの。あるよな。はっきりと明確に自分の中で、もしくは他人から見たここに来る理由がある人しか参加してはいけないみたい。誰にも言われてないんだけど、そういう空気感みたいなものがあるって、じゃあ自分で行ってはいけない人間なんだろうかみたい。勝手に思うことがあるんだけど、そんなこと言ったら私やってないもん。ここに理由がない。けどこの場が好きだからいる。(Y:何かしゃべりたい、おりたい、誰かと会いたいみたいな感じですね)そうそ

う。だから、自分が好きになるっていうのはすごくよく分かる。人権学習をすることによって自分が好きになるっていう、その感覚はすごくよく分かる。だから昔よく言ってたのは、「昨日の自分より今日の自分が好き、今日の自分よりも明日の自分が好き」になるように、今頑張ろうって。そういう感覚はすごく分かるような気がしますね。たぶん、はっきりとは上手く入ってないかもしれんけど、感性として伝わってることは、かなり大きくあるような気がします。(M:あるかなあ(笑))うん、ホントそんな気がする。また感想聞かせてね、あとで。だいたい時間押してるけど。(笑)だいたい時間押してるけど、あとで感想聞かせてね。(M:休憩のときとか)(Y:聞いてて、あっそれ言いたかったっていうの多かった)3人めいっていい?(A:思い出したらしい)ダメ今。(笑)今ダメ。ということで、Aさんお願いします。



A 1回みんな起立してもらっていいですか。それで起立せえへんかった人、寝とったからな。今さっき。見てたからな。大丈夫?(吉成:ええやん、6時半まで飲んでる人もいたんやから)(Y:3日寝てないから)今なんで立ってもらったかっていうと、せっかく来たんやからやっぱり寝んと聞いてほしいなっていうことも思っていて。(吉成:ごめん、寝てたわ)爆睡しとった?(吉成:ごめん、ごめん、寝てた)隣で?(吉成:うん)目開けて?(笑)(吉成:目開けて)さすが。(笑)

私がこの場に参加した理由は、今さっきも

言ったんですけど。自分がしゃべることが大好きやから、こういう場に行ってみようと思って。こういう場に行ったら、何か自分が見つけれるんじゃないかっていうふうに思って。ホントは自分が中学校2年生のときに参加したくて。私のお姉ちゃんも1回参加して。Mさんと同い年なんですけど。それで姉ちゃんが「言っとくわ」って言って1年経った後、言ってなくて。「えっ、参加できんのん？」て思って。もう自分から言いに行って。でこういう場に参加したんですけど。

MさんとかYさんが言よったように、私もこの場に来て、すごい出会いが見つかって。ほんで今でも仲いい友達とかも結構おるし。中・高生集会っていうのが、大会が12月中旬ぐらいにあるのかな。それにも参加、3年間ずっと3・4年？中学校からかな、してて。それでも高校生の3つ上？2つ上の先輩とかとも今でも仲良くしてもらってて。ていうんもあって、それでこの場ってすごい、何て言うんだろう。関わりとか居場所になれるんだなって思ってた。



私が中学校3年生のときに、家がもうごっちゃごちゃになっと思って。それで、もうホンマにしんどすぎて。死にたいと思ったことも何回もあって。親のせいで。それで、そういうことがあっても、先生とかに相談してごっつい不安な気になりながらも相談したら、しんどかったりとかしたら助けてくれたりとかして。高校生のときとかも、しんどすぎたときとかも先生が助けてくれたりとかして。そういう、ホンマにしんどいときとかに頼れ

る場所がここっていうこともあって。

何が話したいかっていうんもあんまりまとまってないんやけど。まあやっぱりこういう人権とかっていうんて堅苦しいし、正直小中とか習ってても何言よんか分からんていう時期もあったし。ほれでもやっぱり自分から学びたいって思ったのは、こういう人権とかだったし。普通の勉強するときとかよりも全然楽しかったし。

森口先生が8月2日にいつもの鳴門市人権地域フォーラムがあって。ほういうんとかにも参加させてもらったときとかもあって。いろんなそんなんとかも全然参加させてもらいよったときとかって、「こんなクソガキが何言よん」て思われるようなこととかもたくさん言ってきたし。



私が一番思ったんは、こういうやっぱり人権の問題って今なくなってきたみたいな問題が多いっていう。感じられとると思うんやけど。それって子どもだけじゃなくて大人の見方っていうのもあると思って。本当に今伝えたいんが、先生方に今ちょっとよく聞いてもらいたいんですけど。自分の意志がなければ、こういうことってちゃんと子どもたちに伝えられないと思うんですよね。じゃあ今ここに何しに来とるかって。ホンマにここに学びに来たいのか。引率やから来とるのか。考え方だけで自分が何を聞こうが変わってくると思うんですよね。それをどんだけ生徒に伝えれるか。どんだけどういふふうに伝えるんかっていうんが、すごいやっぱり生徒にも伝わってくるんですよ。ていうんは私ずっと

たぶん言よる気がする。(吉成：きついねえ。きついこと言うねえ(笑))(笑)でもホンマにそれは、私は高校入ってから思ったし、高校のときの担任の先生にも言ったことはある。書いた紙があって。やっぱり先生が、ちゃんと教科書があるからそれを伝えるのか、本当にこれを分かってほしいから伝えるのかで、勉強の仕方って違ってくると思うし。何の教科に対しても。(吉成：数学も?)数学も。だって面白いかわからないかで、寝とるか寝てないか。学校の授業のとき。面白くなかったら寝る人もおるし。面白かったら、じゃあこれやってみようっていう考え方の人が出てくるわけじゃないですか。何で先生にならんかったんだろうって今自分思う。(吉成：なったらええんよ。今からなったらええんよ)これ(お金)の問題。(吉成：どうにかなる。どうにかなる)きつい。働いてからにする。話それたんですけど、こんな20歳になりたてのクソガキが何言よんじゃと思われるかもしれんんですけど。やっぱりそういうところからでも、ちょっとずつでも変わっていったら、教える人とかが変わっていったら、ちょっとでも、中学生とか高校生とかちょっとでも、「あっ、こういう場所なんじゃ」っていう。ちょっとでも変わっていけるんかなっていうふうに思うところがあります。まとめ違うけど、オチがないけん。(吉成：みんなオチないやん)(笑)そう。話まとまってない。(Y：不時着ですよ。ホント不時着)



やっぱこんな堅苦しい話とか聞きよったら、眠たくなってくるよな。分かる。何を話

したらいいんだろうって思ってたけど。やばい。みんなで話す?(Y：みんなで話す?)みんなで話してもいい?(吉成：いいよ。もう35分過ぎてるけど)(Y：でも言ってたんですよ。15分、15分、15分でみんな話す内容決めてないんやったら、45分で3人でしゃべった方が良くない?って)そう。(吉成：先言ってよ)(笑)(Y：(笑)そのときおらんかったもん先生)(吉成：ずっとおったしここで。誰?「迎えに来て」って言ったん(笑))(Y：ごめんなさい)



吉成 いや時間がだいぶ少なくなって。フロアからも感想とか意見とかもらいたいし。

A ちょっと待って私5分しか話してないもん。

吉成 いやほな話してよ。

A (笑)ほなみんなでちょっと話そうか。

吉成 ほな5分だけ聞こうか。(笑)

A ちょっと堅苦しい話もあったんですけど、みんなにとっての中学生集会とは何ですか?

M なんでコーディネーター目線なんですか。(笑)

A (笑)今Aの話やから。

M さっき言ったことかなあ。自分を変えてくれた場所。うん、です。(笑)

A Yさんは。

Y 俺ホンマに友達つくりに来てた。



A わかる！

Y ホントに。いや、当時めちゃくちゃ言ってたから吉成先生覚えてる可能性あるかもしれないですけど、なんでここに来てるんですかって訊かれたときに、「何か楽しそうなことを自分が参加してないところでされるんがイヤなんです」って言ってた気がする。(笑)ずっと言ってたんですよ。たぶん。

A 最初、でもそういう感覚で来てもいいと思う。全然。こういう堅苦しい場所に誘われたけん、「うわーっ、めっちゃ堅苦しいわ。めっちゃ面倒くさいわ」って思うかもしれんけど、来たら全然そういうこともないし、なんなら友達増えるし、楽しいし。こういうちょっとお話聞く場面とかもあるけど、全然ためになるっていうか。あー、こういうこともあるんやなっていう考え方が変わるっていうか。最初は何も考えんと来てもいい。「何も考えんと来てもいい」っていう言い方したら先生に絶対怒られるけん言えんけど。

Y でもそのうちずっと来とったら、何かのタイミングで来るものある。

A そうそう。あ、やっぱこれってこういう考え方なんかなみたいな。考え方がホンマに変わるところがくる。

M そうね。この3人の話には何も響かんかったけど、午後の作文で響く子もおるかもしれない。

A そうそう。何話しよんじゃこいつらと思いつつながら聞きよって、(笑)いやこっちの作文の方がためになるって思うこともある。(笑)

M て考えてる子も絶対おるしな。(笑)



Y まあホンマどこで何があるか分らんですしね。

A ホンマに。私このあと先生たちに怒られること覚悟で今の話したから。

M 怒ってくださいね、じゃあ！(笑)じゃあ怒ってくださいね！(笑)

A イヤやもう。怒られる人一人目に見えとる、もう～。怖いよう～。(笑)

M 何せ延長線上におるからな。(笑)

A もう、後ろの人が怖いよう～。(笑)一人で座ってニヤニヤしながらおる人が怖いんよ。

M まあまあ、見ないで見ないで、みんなね。絶対怒られるん目に見えとるから、もうちょっとビクビクしながらいこう。20歳越えても怒られるんですよ。

A そうですね。(笑)20歳越えたけんて、大人になったけんて怒られんこととかまづない。怒られることばっか。何なら増えた。(笑)



Y で、何が悪いんすかとか言えん年になってきてる。

A そうそう、お前大人なんやから。

M 自分の言葉に責任感もてって言われる歳やから。

A お前はもう責任感あるやろ。そんなこと言える場合ちゃうやろ。すんませんしか言えん。

Y すんませんって。

A すんませんって。理不尽なことでもすんませて言わないかん。

M 何これ。(笑)

A 話めっちゃそれで。(笑)

M 何の話これ。(笑)

A また後で先生に怒られるん覚悟しときなが

ら。まあでも何が言いたいかっていうと、やっぱり中学生集会っていいよね。

Y いやホントに。

吉成 いやいや何が良かったって言うと、たぶんこの会初めて今日来た人はな、「ここはまた、何か真四角の会なんだろうな」って、そう思って来てる人おと思うのよ。でも人権てたぶんそういうイメージ。ほなけど、してほしいっていうか、あつてほしい姿はそんなのじゃなくて、たぶんこういうものなのよ。学校の先生ってダメよ、だから。ピンポイントでそれを突こうとするから。ピンポイントでそこを突くことしか考えないから。

A どういうこと?(笑)

M みんなは分かるよな。(笑)

A どういうこと?どういうこと?全然分からん、全然分からん。

Y こうあるものですよみたいな。

吉成 正解しか求められないみたいな。

A ああ、そういうことな。何を言よんかと思った。ピンポイントで何を突つきよんだらうと。

吉成 ピンポイントで正解を求めるようなことしかしないから、基本的に。学校の先生っていうのは。

Y そうそれを今数学の先生が言ってるんやから。

M 一番答えがあるようなね。(笑)

A 説得力がある。

吉成 けどそんなものじゃないのよ。ホントはそういうものじゃないのよ。特にこういう会なんかはそうじゃないのよ。



Y いや、正解とか求められたらしゃべりづらいつすわ。

吉成 だからこういうのがいいのよ。こういうゆるーい感じがいいのよ、ゆるーい感じが。(笑)

Y いや、しょうもないことだったらいくらでもしゃべれるんですけど、改まってやられるとすごいしゃべりづらいんですよ。だからさっきしゃべってたときより、ボクすごい元気やと思うんですよ、今。(笑)結局改まって自分こういうこと思ってますっていうのが言えなくて、けどもしょうもないことはしゃべれるけど、どうしようみたいな気持ちを、結局しゃべれんから歌ってる感じはあるんですよ、やっぱり。(3人：あー、なるほど(笑))

吉成 どうして今日はギター持ってないの。(2人：ほんまや(笑))フロアから(感想)もらわなくていいの。5分経ってないの。

A 余裕で経ってる。

Y あ、思い出したんです。何が言いたいか。高2のときに吉成先生から言われて。その当

時何となく覚えてて暗記してたことがあって。今になってこれって先生が当時言ったことって人権教育だけのことじゃなくて、全部そうやなって思ったことがあるんですけど。簡単なことなんで、メモしたい人はメモしてください。(M：用意するん待たなアカンやん(笑))ペンを待つ間に、どうしよかな。こいついったいどういう歌声なんやって思う人は、YouTubeで「よさこいバンキッシュ」って調べてくれたらボク歌ってるんで。(A：それをメモるんじゃないっすか(笑)(吉成：そっち！(笑))あー、やってしまった。全然ツイッターされてる方、ボク教えるんで。これから言うことだけメモしといてくれれば。(A：よさこいバンキッシュ)(M：(笑)違う、違う、ホンマ時間ないから)

言いますね。「学びが思いを生み、思いが行動を生み、行動がつながりを生む」これね、いつ言われたかは覚えてないんですけど、たぶんあの時期やなって、ずっと覚えてるんですよ。



A すごい、吉成先生そういうこと言ったんや。すごい。(吉成：すごいなあ)自分で言うたのに。(笑)

Y 結局これって、さっきボク何となく言いたかったことにつながるんですけど。我より人なんですよね。自分だけではどうしようもないというか。人がおらんと無理やし。そう、すごくそれが言いたかったんですね。

A Yさん最後にした方が絶対良かったやつやな。(M: ホンマな(笑))さあ、周りに聞きましょうか。(M: さあ)さあ時間がないので聞きましょうか。

M ご飯食べながらでも聞く。(笑)

Y すいません、さっき言ったのって、何だったらあとで全然来てください。

吉成 ほな司会の2人、ふってもらえる?

司会 どうもありがとうございました。(拍手)
それでは残りの時間、感想や質問、意見交換を行っていきたくと思います。マイク係として八万中学校3年gさん、松茂中学校2年のhさん、松茂中学校2年のiさんの3人がフロアをまわります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願ひします。意見がある人は手を挙げてください。

城ノ内中学校 2年 j Yさんの話にはほんま感動させられました。やっぱりこの集会に来て良かったなと思いました。短く済ませたいんですけど、1個お願いがありまして、やっぱり徳島って米津さんの出身地じゃないですか。だからあの一、「Lemon」歌ってほしいなと思います。(笑)

吉成 昼休みのお弁当のとき。

Y だから飯食ってるときに急に歌い始めたら、知らん人からしたらこうなるってことですよね。何か歌ってるわみたい。ギター持ってきたら良かった一。(笑)

城ノ内中学校 2年 f 私もYさんの意見が大きいんですけど、3人とも話を聞いて共通するものとして、やっぱり周りの人とのつ

ながりとか、周りが自分に及ぼす影響というか、周りの存在の大きさをあらためて気づかされる話が多かったなと思って。やっぱりこういう同じ学校だけというのじゃなくって、県外とかもそうやし、普通だったらあんまり関わることのなかっただろう人たちと、こういうところで知り合えてつながれるのは、やっぱりありがたいことだなっていうことを感じました。(拍手)

Y そう、めっちゃいい場と思うんで、全然つながってください。



板野中学校 2年 k 3人の講演を聴いて、すごくためになったなと思いました。簡潔ですいません。(拍手)

中山中学校 2年 l みなさんの話を聞いて、人はみんなと支え合って生きていかないとたぶんダメだと思うし、自分も最初、「学習会になんで行かないといけないんだろう」と思っていたけど、中学校になってそういうのがだんだん分かってきたので、すごくこの場に来て良かったと思いました。(拍手)

高浜中学校 1年 m 私は1年で中学校入ったばかりで、他校の小学校から来た友達とかもいっぱい来たので、新しい友達もたくさんできたんですけど、まだまだつくれてないとか話せてない子がいっぱいあったので、3人の話を聞いて、友達とか先生が、やっぱ人生でも大切な存在になってくるんだなと思った

ので、もっともっと仲良くできたらいいなと思いました。(拍手)



高浜中学校 2年 n 最初は、1日目は、入り口で緊張しすぎて入れなかったんですけど、城ノ内中学校のjさんが引き連れて(笑)くれたんで良かったです。ありがとうございます。(拍手)

内浦中学校 2年 o 私は去年行けなくて、今年人権の学習にすごい積極的に取り組んで、今年行けたことにはすごい楽しい感じで来たんですけど。やっぱりここに来て、人権についての関わりがすごい深まったっていうのを実感しました。ありがとうございます。(拍手)



八万中学校 3年 p みなさん、もりあがってますか、今。やっぱりこの交流集会って、文字通り交流する場やと思うんで。こう見ても、いろんな中学生いますね。いろんな学校の子が。ぜひ昼の給食、(笑)昼の昼食の時間にでもどんどん話しかけていってください。ここでの出会いは一生の出会いだと思うので。なので、どんどんみなさん、友達をつく

っていきましょう。(拍手)



松茂中学校 2年 q ボクはMさんの話で、去年ボクもこの会の本大会で初めて参加させていただいて。それで初めはボクも、何だろなっていう気持ちとかで挑んでいたんですけど。今年はこんなすごいいい友達とかできて、みんなすごい面白くて楽しいんですよ。ですからこの会来て本当に良かったなと思いました。(拍手)

藍住中学校 3年 d AさんとかMさんたちって、みなさん歳の差であると思うんですけど、(M:1歳違いです(笑))歳が別に差があっても、この交流集会って別に先輩とか上下関係とかってないと思うんですよ。現に今ここで2年生とボク3年生なんですけど、めっちゃ仲良くなってるんですよ。(笑)そういう歳の差がないっていうのが、ボク今の講演感動したっていうのもあるんですけど、今見ててすごい思ったことで。別に歳に差があるからって友達つくっちゃいけないというわけでもないと思うんですよ。学校だったら、先輩と後輩みたいなのがあると思うんですけど、やっぱりその点で、この交流集会ってめっちゃいい場所やなっていうふうに思いました。(拍手)

M めっちゃいいこと言いますね。(笑)全然歳の差は感じないから、マジホンマめっちゃため口やから。(笑)

Y むしろ別に生徒と生徒じゃなくても、先生と仲良くなってもいいし。中学校のとき、後ろの青いシャツ着てる平野先生めちゃ好きやあって。いまだにね、いるとバーツと寄って行って、「お疲れ様です。今日も暑いつすわ」ってさっき言ってたら、「いや絶対今日たぶん汗かいてるんボクだけなんですよね」って言ってたら、「いや大丈夫、ボクもかいてるから」みたいな。(笑)しゃべると面白いですね。マイク渡ったっぽい。



平野(藍住東中) 汗をかかない方法、汗を止める方法は、動かないこと。(笑)じっと耐える。

Y 結構しゃべるとき動くんですけど、全然それが燃焼につながらないっていうんですか。

平野(藍住東中) いや、なぜ私ここにおるか。
(Y:クーラーですよね)はい。(笑)(Y:だいたい空調どこが効いてるかみたいな)そうそう、まずは冷静に判断してね。(笑)そこからです。



Y ぜひ面白い人やなって思ったらとりあえず

話に行くってというのがすごくいいと思います。あとマイク係の子、すごく気になるんやけど、なんで3つ名札してんの。(笑)しかも1番下のやつボクのっていうね。(笑)2つ増えたね。(笑)

八万中学校 3年 c 私は結構Mさんの意見と似てて。今回の集会とか結構ノリで、吉成先生に言われて楽しそうやなと思ってここにおるeくんをむっちゃ誘って行こう行こう行こう行こう行こうってずっと行って、連れてきて、楽しそうやなっていうんで行ったんですよ。そしたら楽しかったんですよ。(笑)ほれプラスいろいろ話聞けたりとかあって。だから昨日の夕食会とかも、まったく同じ席の子っていうか、隣の席の人たちも、全然知らんし。何なら県外やしてみたいな子が多かったんですけど。けどここに来とってずっと話聞いとるばかりはつまらんと思とったし、さっきpくんが言ったみたいに、せっかく交流集会っていう名前なんだから、交流しようと思って、それで話したら、結構この場におる人たちって明るいつていうか、明るいし面白いしフレンドリーな感じの子が多くて。だから友達を学校よりも、全然知らんし名前とかも全然覚えれんですけれど。たぶん実行委員長の名前さえ言えないんですけど。(笑)でもそんなふうには見えないじゃないですか。(笑)だからこの集会に来てホンマに良かったなって思うっていうのを3人の方から聞いて、確かにそうやなって思ったんですよ。聞いたときに。仲いいし、実際。後悔どころか楽しいしなくて。だから3人が言うところ、たぶん行く前、ほなけんこの集会とかみんなに会う前とかだったら、そんな絶対嘘やろって思うじゃないですか。だって、人権を語り合うんですよ。(笑)ほんな小難しいことできませんし。でもたぶん、吉成先生が声かけてくれて、ちょっと楽しそうやなつていうんで行ったっていうのが、それが私のきつ

かけで。今、たぶん少なくとも実行委員長の人たちは実感してるんですよ。ね。ね。(笑)なので、たぶん今回本大会が初めてとか全然からんだことないなっていう人もおると思うんですけど、たぶん数時間経ったらこれくらい仲良くなってるんで。(Y:いやホントにホントに。ホントにそう)思いますね。だってほこのa uくんとかa vくんとか、(笑)あの人たち名前ちゃんといとんですよ。(A:いやみんなついとる。名札名札)名札だっについてなかったやん。その二人とか、昨日会って。昨日の午後ぐらいに会って。夕食会も一緒に。ほのときに即仲良くなったんですよ。だからたぶんそういう人たちがあふれてるんですよ、ここには。だからたぶん、ちょっと控えめな子とかも、話しかけてみたら全然案外そんなこともなくて。ほんけん別に話すのを待つんでもいいから、実行委員長たちがたぶん、ガンガンからんでいくんで、だからそれにうんとかすんとか言えなくてもいいんで。コクコク下向いてうなずくだけでもいいんで。反応してあげたら、たぶん一生ぐらいな、一生関係をもてるような仲間になれると思うんで。結果つまりは、3人の方の話聞いて、確かにそうやなって共感する部分が多かったっていうのがまとめです。だからみんな、ここにいる全員の方に体験していただきたいなっていうのを思いました。以上です。

Y いや結構ね、毎年あるあるやなと思うんやけど、最後の方になるにつれて、何となく仲良くなって、めっちゃおもしろいやつおったわってなって、終わる頃にしゃべり足りなかったなってなること多くない。あるやろ。たぶん2人も思っと思うんやけど、そこすごく仲いいのとかすごく懐かしいんよね。(笑)ホントにね。

吉成 やっぱね、出会いとつながりが人を変えていくんやと思うのよ。そういう機会が多

ければ多いほど、自分で変われるチャンスが増えるのよな、きっと。その1つなのよ、この場って。そんなふうに思って、出会いとつながりを大事にしてもらえたらいいかな。楽しいって言ってくれたけど、楽しいのは、笑顔があふれるのは、ある種ここが居場所になってるんやと思うのよ。やっぱり人って居場所が必要なんやと思うのよな。それが家であつたら家でもいいし、学習会がそうであるかもしれないし、友達と一緒にいる場がそうかもしれないし、学校や教室がそうであるかもしれないし、部活動がそうであるかもしれないけども、とにかく人ってたぶん居場所が必要なのよ、きっと。自分がありのまま笑顔でいられる場所が。ここがそういう場の1つになってくれるといいなと思うし、みんなそれぞれにそんな場をもってもらえたらいいなって、ホントに思う。是非そんな場をつくって下さいっていうか、ここがそんな場であればいいなって思います。終わりますか。

司会 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後にもう1度拍手をお願いします。(拍手)

今回の、全体会午前の部が時間が少し短かったので、今のパネルディスカッションについて午後の部でも発表ができるようになっていきます。何かあれば、午後に発表してください。

さて、この後昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、引き替えを行いますので、代表の方は1階玄関、受付をした場所へお越しください。なお基本的にお弁当は、この3階大会議室で食べてください。また後から来られて受付をされていない方も1階受付へお越しください。まだ名札をつけてない方は、名前が分からないので、この後、大会議室外の受付で作り、必ずつけておいてくだ

さい。

それではお互いに交流し合いながら食事をし、お昼のひとつときをお過ごしください。なお午後の部の開始時刻は 13 時です。遅れないように元の場所に集合してください。よろしくをお願いします。それではいったん、ちょっと待ってください。

沖(大麻中) すいません、連絡を致します。お弁当のことですが、お弁当が5つずつ袋に入って、学校名を書いて下の方でまとめてあります。なので各学校で5で割った数字の人数だけ下の方に取りに来てください。

それとお弁当に付いているお茶についてなんですが、ペットボトルの麦茶になっております。それを110ぐらいは先ほど持って上がって、その入り口の所に並べているんですが、まだ下に100ほどあります。すいません、ちょっと多すぎて持って上がれないので、麦茶の方も下まで取りに来てください。それとお弁当は食べた後、またその同じ袋に入れていただいて、1階の方に持ってきてください。大きなゴミ袋に直接入れていただくので構わないと言われておりますので、それで回収したいと思います。

ペットボトルの方なんですが、午後1時の時点でペットボトルの中身が残っている方は、申し訳ありませんがペットボトルをお持ち帰りください。その時点でペットボトルがもう空になっている人は、ペットボトルの方のゴミ袋を集めたいと思います。

それと各団体の代表の方で、お弁当のお金を払っていただいた方、領収証が届きましたので、このあと私後ろの方でおりますので、領収証を私の所まで取りに来てください。よろしくをお願いします。

司会：それではいったん解散してください。